

PROFILE KATO

VOL.23

燈籠アーティスト

まつもと
松本
くみこ
久美子
さん



元々ものづくりが好きで、播州清水寺の千燈会にボランティアとして参加したのがきっかけで、燈籠囀(kakomi)アーティストとして活動をはじめました。

色とりどりの紙だけでなく、地域の特産品や加東市のもち麦わら、かんなくずなどの廃棄されるものも作品に取り入れ、SDGsに配慮した作品を制作しています。

昨年、cafeと音楽教室とでコラボした五感で楽しむ1 DAY イベントを開催。コーヒーの匂い・味、チケット裏の播州織、演奏、そして燈籠の炎の揺らぎを楽しんでいただきました。

私の開催するイベントでは、テーマに沿った囀~kakomi~を展示しています。ぜひ燈籠の揺らぐ炎、色とりどりの形で癒され、心がポッと温かくなっていたきたいです。

結婚を機に京都から加東市に引っ越しをされた松本さん。

2018・19年に開催された播州清水寺千燈会の燈籠アート担当。

燈籠囀(kakomi)アーティストとして、加東市のみならず、北播磨地域で活動しています。

“囀(kakomi)”は、灯りの周りを様々な形や物で囀むという意味と、人と人が繋がって輪になり、囀んでゆくという意味が込められている。